

911.3
木

後勺年尔於業草

全

發句手尔於葉草

序



句中切字有て餘多てふまは乃入る句

は句中切字有て餘多てふまは乃入る句

切字有て餘多てふまは乃入る句

不審小思ふ人なる故人多くを病む

中古今人已知る切字有て餘多てふまは乃入る句

わが切字有て餘多てふまは乃入る句

ゝる切字の上達いふ事と病む乃美

太素祖翁小切字いふ事と病む乃美

地ろあり ○ 本草同 ○ 白土ろあり ○ 炭雪

仰○翁曰翁也○其角仰○翁曰奇也○許六仰

子曰是則多之是也又向者不其人也

意のすめ能く

穀のやハ中々心乃遺る事恐るゝの如信て始る也

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

音の
 知^カや土筆の長みか
 信
 指

枯果々 名ふは 礪石（紅） 女（紅） 郎也 松風

此系一之接
 也カ
 接以ズカ
 土
 筆
 其
 角

夕フ 諸小シロ 雲々クモクモ
紅ベニ 河カハ 舟フネ
水ミヅ 鷗ウ

涼山寺
川の端
野水

右の句は、
ひさし

ふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふふふ

臨屏之尺如增世之域拂

名自年 柿集の ~~き~~ ^が 田の ~~き~~ ^{ナニ}

梅子(き)やうを盗まむ(4)

多那波の
や西
旅
合
の
む
+ラニ

風流の娘の如く
乙女は田舎
娘

董子小過
漢
漢
や
さ
曲
家

山や花
垣振
の
は
を
し
花
畑

竹^{タケ}の^ハ葉^ハの^ハいろ^ハの^ハ道^{ミチ} 箱

水^{ミヅ}の^ハいろ^ハの^ハ人^{ヒト}の^ハいろ^ハの^ハ道^{ミチ} 箱

如^スひ^ハ心^{ココロ}の^ハいろ^ハの^ハ人^{ヒト}の^ハいろ^ハの^ハ道^{ミチ} 箱

子^コの^ハ日^ヒの^ハいろ^ハの^ハ人^{ヒト}の^ハいろ^ハの^ハ道^{ミチ} 成^{ナリ} 義

物^{モノ}の^ハいろ^ハの^ハ人^{ヒト}の^ハいろ^ハの^ハ道^{ミチ} 白^{シロ} 雄

花^{ハナ}の^ハいろ^ハの^ハ人^{ヒト}の^ハいろ^ハの^ハ道^{ミチ} 世^ヨ 南

樹^キの^ハいろ^ハの^ハ人^{ヒト}の^ハいろ^ハの^ハ道^{ミチ} 五^イ 層

草^{クサ}の^ハいろ^ハの^ハ人^{ヒト}の^ハいろ^ハの^ハ道^{ミチ} 雨^{アメ} 塘

虫^{ムシ}の^ハいろ^ハの^ハ人^{ヒト}の^ハいろ^ハの^ハ道^{ミチ} 護^ゴ 物

乱^{ラン}の^ハいろ^ハの^ハ人^{ヒト}の^ハいろ^ハの^ハ道^{ミチ} 白^{シロ} 雁

何^{ナニ}の^ハいろ^ハの^ハ人^{ヒト}の^ハいろ^ハの^ハ道^{ミチ} 枝^エ 堂

如^スひ^ハ心^{ココロ}の^ハいろ^ハの^ハ人^{ヒト}の^ハいろ^ハの^ハ道^{ミチ} 護^ゴ 物

花^{ハナ}の^ハいろ^ハの^ハ人^{ヒト}の^ハいろ^ハの^ハ道^{ミチ} 政^{セイ} 二

物^{モノ}の^ハいろ^ハの^ハ人^{ヒト}の^ハいろ^ハの^ハ道^{ミチ} 乙^ニ 二

人^{ヒト}の^ハいろ^ハの^ハ人^{ヒト}の^ハいろ^ハの^ハ道^{ミチ} 政^{セイ} 二

如^スひ^ハ心^{ココロ}の^ハいろ^ハの^ハ人^{ヒト}の^ハいろ^ハの^ハ道^{ミチ} 逸^{イツ} 訓

子^コの^ハ日^ヒの^ハいろ^ハの^ハ人^{ヒト}の^ハいろ^ハの^ハ道^{ミチ} 白^{シロ} 雄

花^{ハナ}の^ハいろ^ハの^ハ人^{ヒト}の^ハいろ^ハの^ハ道^{ミチ} 世^ヨ 南

樹^キの^ハいろ^ハの^ハ人^{ヒト}の^ハいろ^ハの^ハ道^{ミチ} 五^イ 層

草^{クサ}の^ハいろ^ハの^ハ人^{ヒト}の^ハいろ^ハの^ハ道^{ミチ} 雨^{アメ} 塘

虫^{ムシ}の^ハいろ^ハの^ハ人^{ヒト}の^ハいろ^ハの^ハ道^{ミチ} 護^ゴ 物

同 復

鶯のささるの枝^{カヨ}や村 天 青 蘿

子銀思ひ持^{コヤ}も月夜^{ヨナ}来 士 朗

わさき^{カヨ}にやふや小原^{コハラ} 役^{ヤク} 世 南

幾度^{ナニトモ}来^キる^ル田^タ持^ヂは古^コ鼓^コ 鳥 花

我^ワも^モ 歌^カを^ヲ 曉^{トヨ}人の^ノ 歌^カ 儿 董

端^{ハナ}崎^{サキ}や来^キる^ル世^セの^ノ 路^チ 素 郷

窮^{クワウ}つ^ツこ^コや^ヤし^シを^ヲ 今^{イマ}も^モ 人^{ヒト}の^ノ 歌^カ 政 二

同 秋

水原^{ミヅハラ}や^ヤ 何^{ナニ}れ^レ 秋^{アキ} 蟻^{アリ} 蟄^{シユル} 子 塘

魂^{タマ}柳^{ヤナギ}や^ヤ 何^{ナニ}と^ト 春^{ハル}の^ノ 花^{ハナ} 大 拙

葬^{マウ}や^ヤ 何^{ナニ}れ^レ 蔓^{マン}を^ヲ 一^{ヒト}つ^ツ 近^{チカ} 月 居

蟪蛄^{ヘイコ}や^ヤ い^イつ^ツも^モ 所^{トコロ} 枯^カ も^モ 士 朗

何^{ナニ}れ^レ 此^{ココ} 世^ヨの^ノ 子^コを^ヲ 原^{ハラ}を^ヲ 鳴^{ナウ} 蒼 子

草^{クサ}や^ヤ 何^{ナニ}れ^レ 心^{ココロ}を^ヲ 露^{ツキ}ふ^フ け^ケ 小^コ 葛 三

高^{タカ}原^{ハラ}に^ニ 野^ノや^ヤ 山^{ヤマ} 守^{モリ}や^ヤ 月 居

誰^{タレ}や^ヤ 何^{ナニ}れ^レ 故^コ人^ニ 幾^{ナニ}も^モ 其^{ソノ}の^ノ 露^{ツキ} 政 二

我^ワ 誰^{タレ}ハ^ハ 其^{ソノ} 穂^ホふ^フ 幾^{ナニ}日^ニ 經^{ケル} 乙 二

海^{ウミ}や^ヤ 里^{サト}ハ^ハ 何^{ナニ}れ^レ 今^{イマ}も^モ 月 可 教 里

同 冬

冬^{フユ}や^ヤ 何^{ナニ}れ^レ 判^ハる^ルの^ノ 加^カ 其^{ソノ} 婦^{メノ} 維 咏

詩人のついでまに夜ふくまふ夜ふくまふ 素郷

風や何れ世にやうあふ 新 葉村

龍騰の何れにやうあふ 那ハ 松 雄

は鳥をやうあふ 那ハ 松 三

胸をやうあふ 那ハ 松 長

名あふ 那ハ 松 白 蒼 子

肺をやうあふ 那ハ 松 敦 標 堂

いふやうあふ 那ハ 松 一 叶

雪をやうあふ 那ハ 松 成 義

雲をやうあふ 那ハ 松 零 松

山をやうあふ 那ハ 松 教 葛 三

冬をやうあふ 那ハ 松 無 村

みふ日あふ 那ハ 松 月 居

頭をやうあふ 那ハ 松 金 村

心切あふ 那ハ 松 金 村

ぬるるあふ 那ハ 松 金 村

体ふ不自在あふ 那ハ 松 金 村

切あふ 那ハ 松 金 村

春

今朝のまに何処に逢ふおまき^{スルサラン} 標 毫

くやうのまにふんお祝みおあに^{カリトニヨリニヤリ} に。 大に丸

くやうのまにふんお祝みおあに^{カリトニヨリニヤリ} に。 大に丸

くやうのまにふんお祝みおあに^{カリトニヨリニヤリ} に。 大に丸

くやうのまにふんお祝みおあに^{カリトニヨリニヤリ} に。 大に丸

くやうのまにふんお祝みおあに^{カリトニヨリニヤリ} に。 大に丸

くやうのまにふんお祝みおあに^{カリトニヨリニヤリ} に。 大に丸

くやうのまにふんお祝みおあに^{カリトニヨリニヤリ} に。 大に丸

くやうのまにふんお祝みおあに^{カリトニヨリニヤリ} に。 大に丸

くやうのまにふんお祝みおあに^{カリトニヨリニヤリ} に。 大に丸

くやうのまにふんお祝みおあに^{カリトニヨリニヤリ} に。 大に丸

くやうのまにふんお祝みおあに^{カリトニヨリニヤリ} に。 大に丸

くやうのまにふんお祝みおあに^{カリトニヨリニヤリ} に。 大に丸

くやうのまにふんお祝みおあに^{カリトニヨリニヤリ} に。 大に丸

くやうのまにふんお祝みおあに^{カリトニヨリニヤリ} に。 大に丸

くやうのまにふんお祝みおあに^{カリトニヨリニヤリ} に。 大に丸

くやうのまにふんお祝みおあに^{カリトニヨリニヤリ} に。 大に丸

くやうのまにふんお祝みおあに^{カリトニヨリニヤリ} に。 大に丸

くやうのまにふんお祝みおあに^{カリトニヨリニヤリ} に。 大に丸

厂の者たちをさきとせしむる月 ササキの月 標

いつまでも水田の上れ春の月 春の月 茶

春は一立をいふる日をさきとせしむる月 ササキの月 茶

肘のさきとせしむる月 ササキの月 茶

つとめとせしむる月 ササキの月 士朗

馬の眼 ササキの月 犬の眼 ササキの月 白雄

落つてくる二月 ササキの月 成美

猫のさきとせしむる月 ササキの月 白雄

舟のさきとせしむる月 ササキの月 〃

厂の者たちをさきとせしむる月 ササキの月 〃

秋のさきとせしむる月 ササキの月 〃

〃のさきとせしむる月 ササキの月 〃

草のさきとせしむる月 ササキの月 〃

〃のさきとせしむる月 ササキの月 〃

〃のさきとせしむる月 ササキの月 〃

〃のさきとせしむる月 ササキの月 〃

〃のさきとせしむる月 ササキの月 〃

〃のさきとせしむる月 ササキの月 〃

〃のさきとせしむる月 ササキの月 〃

〃のさきとせしむる月 ササキの月 〃

手習り種^{ナリ}の山乙二

其の山^{ナリ}の裾^{ナリ}の山乙二

其の山^{ナリ}の裾^{ナリ}の山乙二

其の山^{ナリ}の裾^{ナリ}の山乙二

其の山^{ナリ}の裾^{ナリ}の山乙二

其の山^{ナリ}の裾^{ナリ}の山乙二

其の山^{ナリ}の裾^{ナリ}の山乙二

其の山^{ナリ}の裾^{ナリ}の山乙二

旧夏

其の山^{ナリ}の裾^{ナリ}の山乙二

其の山^{ナリ}の裾^{ナリ}の山乙二

其の山^{ナリ}の裾^{ナリ}の山乙二

其の山^{ナリ}の裾^{ナリ}の山乙二

其の山^{ナリ}の裾^{ナリ}の山乙二

其の山^{ナリ}の裾^{ナリ}の山乙二

其の山^{ナリ}の裾^{ナリ}の山乙二

其の山^{ナリ}の裾^{ナリ}の山乙二

其の山^{ナリ}の裾^{ナリ}の山乙二

其の山^{ナリ}の裾^{ナリ}の山乙二

其の山^{ナリ}の裾^{ナリ}の山乙二

壯
舒
痛

十ヶ十リ

ニセナリ

五

ナリ

ナリ

二十ニケリ

67

ヤニ

造り

二、

アラソフヤラ

个二五五八

67"

ふか

ラモレワレ

フルニ

ナリ

カラマツ

54

秋の城をよる 是の 夜 ^{ナリ} 團更

朔の 晴ハ 都 ^{ナリ} ぬる 男 ^{ナリ} 曉 臺

松屋よ あり 月 ^{ナリ} 吹 あり せぬ ^{ナリ} 道 臺

融 けハ 春の 夢 ^{ナリ} あり 士 郎

ハ 朔の 夜 ^{田二ハナリナリ} 柳 月 ^{色ナリ} 白 雄

乙 日月 ^{ナリ} あり 詠 ^{出ナリナリ} 君 ^{ナリ} 乙 二

柳 雪の ち 初 ^{ナリ} あり 乙 ^{出ナリナリ} の 月 ^{ナリ} 護 物

庭 ^{ナリ} へ 秋 明日 ^{三ヨイハナリハ別ナリ} も あり 秋 ^{ナリ} の 月 ^{ナリ} 居 月 居

名 月 ^{ナリ} の 夜 ^{ナリ} を 詠 ^{ナリ} あり 詠 ^{ナリ} 奇 詞

嵐 吹 する の 中 ^{出ナリ} よ ^{ナリ} り あり 月 ^{ナリ} 標 良

新 川 ^{ナリ} 岸 ^{ナリ} 人 ^{ナリ} の 夢 ^{ナリ} あり 秋 ^{ナリ} の 月 ^{ナリ} 大 秋

む ち ^{ナリ} ハ 柳 ^{ナリ} あり 夢 ^{ナリ} あり あり 月 ^{ナリ} 葉 村

人 ^{ナリ} の 夢 ^{ナリ} あり 夜 ^{ナリ} を 詠 ^{ナリ} あり 月 ^{ナリ} 標 老

ち ^{ナリ} あり 夢 ^{ナリ} あり 夜 ^{ナリ} を 詠 ^{ナリ} あり 月 ^{ナリ} 士 郎

村 ^{ナリ} あり 夢 ^{ナリ} あり 夜 ^{ナリ} を 詠 ^{ナリ} あり 月 ^{ナリ} 斗 入

夕 ^{ナリ} あり 夢 ^{ナリ} あり 夜 ^{ナリ} を 詠 ^{ナリ} あり 月 ^{ナリ} 標 老

つ ^{ナリ} あり 夢 ^{ナリ} あり 夜 ^{ナリ} を 詠 ^{ナリ} あり 月 ^{ナリ} 乙 二

お ^{ナリ} あり 夢 ^{ナリ} あり 夜 ^{ナリ} を 詠 ^{ナリ} あり 月 ^{ナリ} 乙 二

この 心 ^{ナリ} あり 夢 ^{ナリ} あり 夜 ^{ナリ} を 詠 ^{ナリ} あり 月 ^{ナリ} 護 物

月 ^{ナリ} あり 夢 ^{ナリ} あり 夜 ^{ナリ} を 詠 ^{ナリ} あり 月 ^{ナリ} 護 物

月 ^{ナリ} あり 夢 ^{ナリ} あり 夜 ^{ナリ} を 詠 ^{ナリ} あり 月 ^{ナリ} 護 物

澤市小石を擧げて仰ぐ月入ル 白雄

蓬フナバシの澤りわくし月ル 白雄

市井の原も一掃ササリの秋 道夏

芒草の原も一掃ササリの秋 道夏

芒草の原も一掃ササリの秋 道夏

芒草の原も一掃ササリの秋 道夏

芒草の原も一掃ササリの秋 道夏

芒草の原も一掃ササリの秋 道夏

芒草の原も一掃ササリの秋 道夏

芒草の原も一掃ササリの秋 道夏

芒草の原も一掃ササリの秋 道夏

芒草の原も一掃ササリの秋 道夏

芒草の原も一掃ササリの秋 道夏

芒草の原も一掃ササリの秋 道夏

芒草の原も一掃ササリの秋 道夏

芒草の原も一掃ササリの秋 道夏

芒草の原も一掃ササリの秋 道夏

芒草の原も一掃ササリの秋 道夏

芒草の原も一掃ササリの秋 道夏

芒草の原も一掃ササリの秋 道夏

芒草の原も一掃ササリの秋 道夏

まに改はる事

ぞが 赤 遊シ 疑ひやがらん アラウ
らー サウナ つ、テけりけりけりワイ
なうなうなれ ダヤヌデアル 約 ぬぬうつ、たうたう
らー サウナ まー ー ウモ、めり オモムキダヤ
な サア をダヤニ たり テアリノ 約 かはカイノ



